

中期・後期ヒッタイト語の名詞句所有構文の再検討

川浪 拓也ティモスィー（東京大学人文社会系研究科 修士課程）

hanpetertim@gmail.com

キーワード：ヒッタイト語 歴史言語学 名詞句所有 譲渡可能性

要旨

印欧語族アナトリア語派に属するヒッタイト語には複数の所有表現があるが、それぞれの機能や通時的関係性はまだ十分に明らかにされていない。ヒッタイト語の名詞句所有構文では所有者は概して(代)名詞の属格形または被所有物を表す名詞に後接する拘束形態素である人称標識のどちらか一方の手段で示されるが、中期ヒッタイト語には同一名詞句内でこれら両方の手段で同時に所有者が示される例がある。しかしこの表現に関する先行研究は限定的で(Hoffner & Melchert 2008)、その形式と機能の全容は明らかではない。本稿では、先行研究では言及されていない新たな用例を複数提示し、この構文は中期・後期ヒッタイト語において生産的な名詞句所有構文の一つであると考え、その形式の記述を行う。そしてその機能については、名詞句所有表現と譲渡可能性に関する通言語的な傾向を考慮した上で、情報構造からの暫定的な分析を提案する。

1. はじめに一ヒッタイト語の年代区分と表記

ヒッタイト語(印欧語族アナトリア語派)は主にアナトリアより出土した粘土板文書に記録され、古期(OH: Old Hittite; 1650-1450 BC)、中期(MH: Middle Hittite; 1450-1350 BC)、後期(NH: New Hittite; 1350-1190 BC)の年代に区分される(Hoffner & Melchert 2008)。言語の年代区分と同様に粘土板文書も古期(OS: Old Hittite Script)、中期(MS: Middle Hittite Script)、後期(NS: New Hittite Script)に区分される。より古い年代のテキストを写した粘土板文書は古い言語特徴を正確に写している場合もあれば、新しい言語特徴を用いて改変している場合もある。したがって、言語の年代区分と個々の粘土板文書の年代区分は明確に区別する必要がある。本稿でも可能な限り両方の年代区分を用例の出典とともに明記する。

ヒッタイト語の記録に用いられた楔形文字は、元来シュメル語(系統不明)を表すための文字であるとされ、表語文字と表音文字の両方の機能を持つ文字の体系として確立された。楔形文字はアッカド語(アフロ・アジア語族セム語派東セム諸語)を記録するために転用され、その後ヒッタイト語を記録するために再度転用された。その結果、ヒッタイト語の表記ではシュメル語に由来する表語文字(シュメログラム)、アッカド語を表す音節文字をそのまま転用した表語文字(アッカドグラム)、そしてヒッタイト語を表す音節文字の主に三つの文字の用法が混在した。本稿では用例や語彙を提示する際はヒッタイト学でのラテン文字転写の慣例に従う¹。なお、シュメログラム

¹シュメログラムは大文字、アッカドグラムは大文字斜体で転写する。連続した複数のシュメログラムの境界はピリオド、接語とホストの境界はイコール、表語文字とそれに続く語尾の送り仮名(phonetic complement)の境界やその他の文字の境界を明示する場合はダッシュを用いる。上付き文字は限定符、シュ

本稿ではまず、ヒッタイト語の名詞句所有構文は(代)名詞の属格形を用いる手段または所有人称標識を用いる手段で所有者を表すことを確認した。次に、OHとMH以降の両年代で(代)名詞の属格形と所有人称標識が同時に使用される名詞句所有構文があることを示し、これを共起名詞と随意的に現れる所有人称標識として捉えた。そして、これら二つの構文のうち先行研究では十分に検討されていないMH以降のものに関して、筆者が集めた用例をもとにその形式的記述を行い、構文の被所有物の種類を記録した。最後にその機能に関して、通言語的な傾向を踏まえ被所有物の譲渡可能性による条件づけの仮説は否定し、情報構造からの暫定的な分析を提案した。その提案とは具体的に、所有人称標識を用いる構文が共起名詞を伴う場合は所有者が対照的主題または対照的焦点の一部として提示されていると分析するものである。

本稿ではヒッタイト語の一つの名詞句所有構文を対象に情報構造との関係性を検討したが、より包括的にヒッタイト語の所有表現と情報構造の関係を検討することや、定量的な検証を行うことも重要な課題として残る。また、本稿がOHの共起名詞を伴う所有人称標識を用いる構文に関しても、譲渡可能性以外の観点から再検討する足掛かりになることを期待する。

略号 CTH: Catalogue des textes hittites, HKM: Hethitische Keilschrifttafeln aus Maşat-Höyük, KBo: Keilschrifttexte aus Boghazköi, KUB: Keilschrifturkunden aus Boghazköi, MH: Middle Hittite, MS: Middle Hittite Script, NH: New Hittite, NS: New Hittite Script, OH: Old Hittite, OS: Old Hittite Script

参考文献

- Croft, W. 2022. *Morphosyntax: Constructions of the World's Languages*. Cambridge University Press.
- Deane, P. 1987. English Possessives, Topicality, and the Silverstein Hierarchy. *BLS*, Vol. 13, pp. 65-76. Berkeley Linguistics Society.
- Friedrich, J. 1940. *Hethitisches Elementarbuch, 1. Teil: Kurzgefaßte Grammatik*. Winter.
- Garrett, A. 1998. Remarks on the Old Hittite Split Genitive. In J. Jasanoff, C. Melchert, & L. Oliver (eds.), *Mir Curad: Studies in Honor of Calvert Watkins* (pp. 155-163). Institut für Sprachwissenschaft der Universität Innsbruck.
- Haiman, J. 1983. Iconic and Economic Motivation. *Language*, Vol. 59, No. 4, pp. 781-819. Linguistics Society of America.
- Haiman, J. 1985. *Natural Syntax: Iconicity and Erosion*. Cambridge University Press.
- Haspelmath, M. 2010. Comparative Concepts and Descriptive Categories in Crosslinguistic Studies. *Language*, Vol. 86, No. 3, pp. 663-687. Linguistic Society of America.
- Haspelmath, M. 2013. Argument Indexing: A Conceptual Framework for the Syntactic Status of Bound Person Forms. In D. Bakker & M. Haspelmath (eds.), *Languages Across Boundaries: Studies in Memory of Anna Siewierska* (pp. 197-226). De Gruyter Mouton.
- Haspelmath, M. 2017. Explaining Alienability Contrasts in Adpossession Constructions: Predictability vs. Iconicity. *Zeitschrift für Sprachwissenschaft*, Vol. 36, No. 2, pp. 193-231. De Gruyter Mouton.
- Haspelmath, M. 2019. Indexing and Flagging, and Head and Dependent Marking. *Te Reo*, Vol. 62, No. 1, pp. 93-115. Linguistics Society of New Zealand.
- Heine, B. 1997. *Possession: Cognitive Sources, Forces, and Grammaticalization*. Cambridge University Press.
- Hoffner, H. & C. Melchert. 2008. *A Grammar of the Hittite Language: Part 1 Reference Grammar*. Eisenbrauns.
- Luraghi, S. 1990. The Structure and the Development of Possessive Noun Phrases in Hittite. In H. Andersen & K. Koerner (eds.), *Historical Linguistics 1987* (pp. 309-324). John Benjamins.
- Neeleman A., E. Titov, H. van de Kroot, & R. Vermeulen. 2009. A Syntactic Typology of Topic, Focus, and Contrast. In J. van Craenenbroeck (ed.), *Alternatives to Cartography* (pp. 15-51). De Gruyter Mouton.